

日本地方自治研究学会 第34回全国大会（松山大学大会）

開催概要

開催趣旨

日本地方自治研究学会第34回全国大会を下記の通り、松山大学において開催する運びとなりました。このたびの統一テーマを『人口減少時代の地方自治』とし、サブタイトルに「基礎自治体のイノベーションを求めて」ということに致しました。

人口減少傾向が進行し、『消滅可能性都市』なる言葉さえ喧伝されながら、一方で本来の地方自治のあり方が試練の時を迎えている市町村、とりわけ、かねてから「限界集落」等を抱える農山村部の小規模市町村はそれぞれに生き残りをかけた新たな取り組みに着手している事実も少なくありません。

他方、相変わらず「一億総活躍社会」の実現も「地方創生」もその成果が顕在化しているとは言い難く、現状から如何にして脱却しようか、どのような新機軸が考えられるのか、奮闘されている基礎自治体の現状等について、広く意見交換を行う機会となることを期待して統一テーマを設定いたしました。

また、愛媛県においても、これまで『行革甲子園』を隔年に実施し、全国の先進的ないし独創的な取り組み事例のアイデアやノウハウを共有し、「自らの取組に活用したり、政策立案に役立てようとする」とするなどの取り組みが行われており、この機会に日頃から住民サービスの向上のために努力を傾けられている当事者や関係者の講演や報告などを素材として、忌憚のない意見交換を期待しております。

大会実行委員長 妹尾 克敏（松山大学）

記

1 開催日

2017年9月16日（土）～17日（日）

2 会場

松山大学^{ひまた}榎又キャンパス（松山市文京町4番地2）

3 日程

9月16日（土）

9：30～12：00	自由論題セッション&研究部会報告
12：00～14：00	昼食／理事会
14：00～17：00	特別企画I（シンポジウム）
17：00～18：00	会員総会
18：00～	懇親会

9月17日（日）

9：30～12：00 統一論題セッション&自由論題セッション&研究部会報告
12：00～13：20 昼食
13：20～14：50 特別企画Ⅱ（シンポジウム）
15：00 閉会

4 プログラム(骨子)

プログラムの骨子は下記のとおりです。詳細は、8月上旬に会員にご案内するとともに、学会ウェブサイトでも続報しますのでご覧ください。

統一テーマ：

「人口減少時代の地方自治—基礎自治体のイノベーションを求めて」

9月16日（土）

(1) 自由論題セッション&研究部会セッション（9：30～12：00）

①自由論題セッション

・「固定資産税の応益性の検証」ほか

②自由論題セッション

・「人口減少時代の基礎自治体の制度的考察—広域連携の限界・人口動態等の事例検証から—」ほか

③研究部会セッション

・「人口減少時代における地域活力の維持と承継について」
(2015-2017年度、最終報告)

④研究部会セッション

・「地域経済とふるさと納税制度」
(2016-2018年度、中間報告)

(2) 特別企画Ⅰ（シンポジウム）（14：00～17：00）

「人口減少時代の地方自治—基礎自治体のイノベーションを求めて」

コーディネーター：

妹尾 克敏 松山大学法学部教授

パネリスト：

井上 貴至 愛媛県総務部市町振興課長

秋山 直人 今治市企画課長

坂本 浩 松野町長（北宇和郡）

兼平 裕子 愛媛大学法文学部教授

(3) 懇親会（18：00～）

ゲスト：

溝上 達也 学校法人松山大学理事長・松山大学学長 ほか

9月17日(日)

(1) 財政・会計セッション&研究部会セッション&自由論題セッション

(9:30~12:00)

① 財政・会計セッション

・「地方公共団体の総合計画～財政的裏付けある総合計画策定の必要性について」ほか

② 研究部会セッション

・「PBL (Problem or Project Based Learning) を用いた”よそ者・若者”と描く持続可能な地域デザイン」

(2016-2018年度、中間報告)

③ 自由論題セッション

・「ポピュリズム論からみる小池都政1年の分析」ほか

④ 自由論題セッション

・「キャラクターを活用した地域ブランド化の展開」ほか

(2) 特別企画Ⅱ (シンポジウム) (13:20~14:50)

「今治市のめざす地方創生スタイル — カルチャー×スポーツ×ツーリズムの融合をめざして—」

コーディネーター:

石田 和之 徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授

パネリスト

西原孝太郎 第一印刷株式会社代表取締役社長、2016年度今治JC会長

永井 真也 室蘭工業大学全学共通教育センター准教授

小川 長 尾道市立大学経済情報学部教授

5 研修

- ・本大会の全プログラムは、日本公認会計士協会CPE研修および日本税理士会連合会の研修に認定されています。
- ・研修としても受講される公認会計士、税理士の皆様は、受付で所定の手続きをお願いいたします。

6 参加申し込み

(1) 会員の参加手続き

8月上旬に、全会員に開催通知とプログラムをお送りし、事前申込手続きをご案内いたします。

(2) 会員でない方の一般参加手続き

会員でない方も、全プログラムについて、下記の一般参加手続きによりご参加いただけます。

①事前申込み

開催1週間前の9月9日(土曜)までに、実行委員会あてメールでご氏名、ご所属、ご連絡先をお知らせください。

[申込先・問合せ]

日本地方自治研究学会 第34回全国大会実行委員会
実行委員長 妹尾 克敏 (せのお・かつとし) (松山大学法学部教授)
住所 〒 790-8578 愛媛県松山市文京町 4-2
松山大学法学部 妹尾克敏研究室内
E-mail:senoo@cc.matsuyama-u.ac.jp

②当日受付

当日、会場受付で一般参加手続きをしていただくことも可能です。
(できるだけ、事前申込にご協力をいただけると幸いです。)

一般参加費 4,000円 (16・17日全プログラム共通)

(3) 一般公開

9月16日午後の特別企画Ⅰ(シンポジウム)及び翌17日午後の特別企画Ⅱ(シンポジウム)については、一般公開(参加無料)とします。

受付はそれぞれ30分前から開始します(会場定員に基づき先着順)。

■松山大学へのアクセスマップ



○松山空港から空港リムジンバスで「JR松山駅」まで約15分。

- ・「JR松山駅前」に乗換えて伊予鉄道市内線(路面)電車の1番環状線で電停「鉄砲町」まで15分。
- ・「鉄砲町」より北に徒歩5分進むと左側に松山大学・文京キャンパス正門(右側に愛媛大学)。
- ・そのまま徒歩で北上し、最初の交差点を左折して1分進むと右側に樋又キャンパスに到着。

※大会受付は、階段で2階上がったところです。

